

令和2年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社sMedio

(東証マザーズ：証券コード3913)

<https://www.smedio.co.jp/>

令和2年4月30日（木）

本資料の無断複写、無断転用はしないで下さい

本資料の要因分析は、当社が適切と考える方法で実施している点、ご理解下さい。



Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



1. 連結業績概要	…P3
2. 連結決算概要 (PL)	…P4
3. 連結決算概要 (BS)	…P5
4. 形態別連結売上高推移	…P6
5. 連結営業利益・連結経常利益推移	…P7
6. 本資料の取扱いについて	…P8

本資料中の数値は、単位未満切捨てで表記しております。
なお、端数処理の影響で、各表の項目の合計と合計欄が一致していない場合があります。

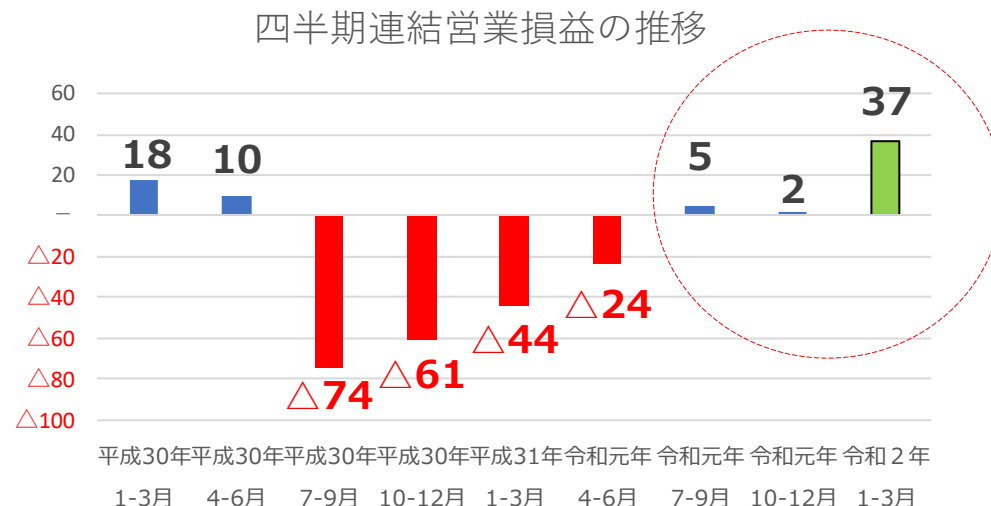
- ◆ロイヤリティ収入の底上げにより、売上高は前年同期比43百万円の増収。
⇒前期に開発に取り組んだ、4K/8Kテレビ向けのロイヤリティ収入が寄与。

- ◆当第1四半期(1-3月)は37百万円の連結営業利益を計上。

単位：百万円未満切捨て

⇒ 3 四半期連続で連結営業黒字を計上。

- ◆計上した営業利益、最終利益は資金創出につながり、現預金は76百万円増加して、708百万円となった。



新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために導入されている世界各国での規制による影響およびそれに伴う景況感の悪化等の間接的な影響を合理的に見積もることは難しい状況ではありますが、当社の事業へのポジティブな影響（関連特需等）は見込まれず、得意先企業での開発スケジュールの後ろ倒しや予算削減による影響が若干出てくるものと考えております。また、国内（東京都、福岡県、岡山県）の開発拠点では、可能な限り、在宅勤務等を実施しており、中国・上海の開発拠点では、2月には在宅勤務等を実施しておりましたが、既に通常通りの業務を行っております。当社グループの開発業務は、今後、通常よりも若干のスピードダウンが発生するのは不可避ではありますが、開発業務が停止する等といった重大な事態にはならないと考えております。

2. 令和2年12月期第1四半期 連結決算概要 (PL)

単位:百万円未満切捨て

	平成30年 1-3月期	平成31年 1-3月期	令和2年 1-3月期	前年同期比	
売上高	278	222	266	43	19.5%
売上原価	136	129	110	△19	△15.2%
売上原価率	49.2%	58.4%	41.4%	△17.0p	
売上総利益	141	92	156	63	68.2%
販管費	123	137	118	△18	△13.7%
営業利益	18	△44	37	82	
営業利益率	6.5%	△20.1%	14.0%	34.1p	
営業外収益	0	1	0	△1	△59.0%
営業外費用	1	0	—	0	△100.0%
経常利益	16	△43	38	81	
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	—	—	1	1	
税金等調整前四半期純利益	16	△43	36	79	
法人税等	6	2	14	12	515.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10	△45	22	67	

(売上高) 前期に開発に取り組んだ4K/8Kテレビ向けのロイヤリティ収入が寄与し、43百万円の増加となった。

(販管費) 新型コロナウイルス感染拡大により、出張を自粛する等、発生経費が少なくなり、18百万円減少した。

(営業利益・経常利益) 増収と経費減少により、ともに黒字化した。

(特別損失) ブイログ製品関連のWEBサイト・アプリの除却。

3. 令和2年12月期第1四半期 連結決算概要 (BS)



単位: 百万円未満切捨て

資産	平成30年 12月末	令和元年 12月末	令和2年 3月末	前期末比
現金及び預金	1,083	631	708	76
売掛金	47	48	50	1
仕掛品	—	21	20	△1
原材料及び貯蔵品	119	374	356	△18
その他	16	24	13	△11
流動資産合計	1,266	1,101	1,149	48
有形固定資産	21	22	23	1
ソフトウェア	24	14	13	△1
のれん	85	42	36	△6
その他	1	1	1	△0
無形固定資産合計	111	58	51	△7
投資その他資産	50	40	38	△2
固定資産合計	183	120	112	△7
資産合計	1,450	1,222	1,262	40

負債・純資産	平成30年 12月末	令和元年 12月末	令和2年 3月末	前期末比
買掛金	49	20	10	△9
短期借入金	124	—	—	—
未払法人税等	6	7	13	6
未払費用	39	53	55	1
賞与引当金	2	2	9	7
工事損失引当金	—	—	—	—
その他	44	35	49	14
流動負債合計	265	118	138	19
固定負債合計	8	8	9	1
負債合計	274	126	147	20
資本金・資本剰余金	1,176	1,175	1,175	—
利益剰余金	219	134	156	22
自己株式	△227	△219	△219	—
その他	7	5	2	△2
純資産合計	1,175	1,095	1,114	19
負債・純資産合計	1,450	1,222	1,262	40

(資産)

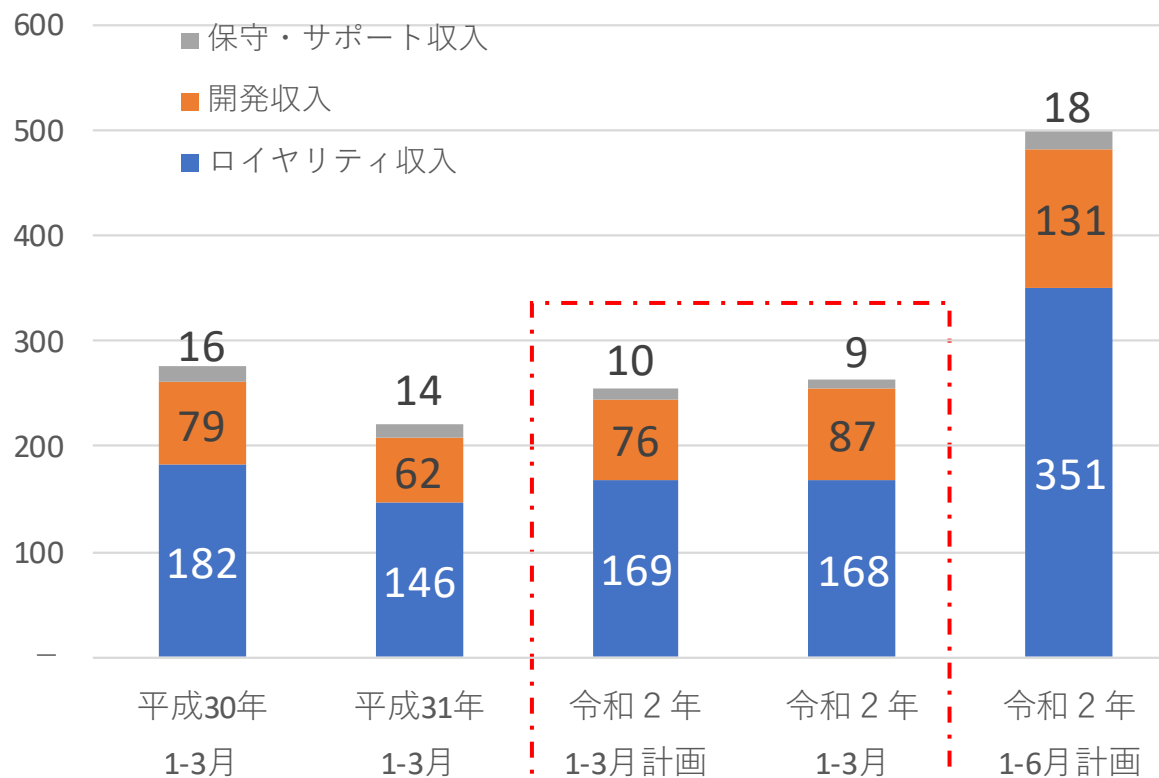
- ・ 現預金は、四半期純利益22百万円を計上し、減価償却費・のれん等の資金流出が伴わない費用もあり、76百万円増加した。
- ・ 原材料は、前払いしたロイヤリティの払い出しによる減少等で18百万円減少した。

(純資産)

- ・ 四半期純利益22百万円を計上したことで、利益剰余金が22百万円増加した。

4. 形態別連結売上高推移

単位：百万円未満切捨て



連結売上高合計	278	222	257	266	501
---------	-----	-----	-----	-----	-----

(ロイヤリティ収入)

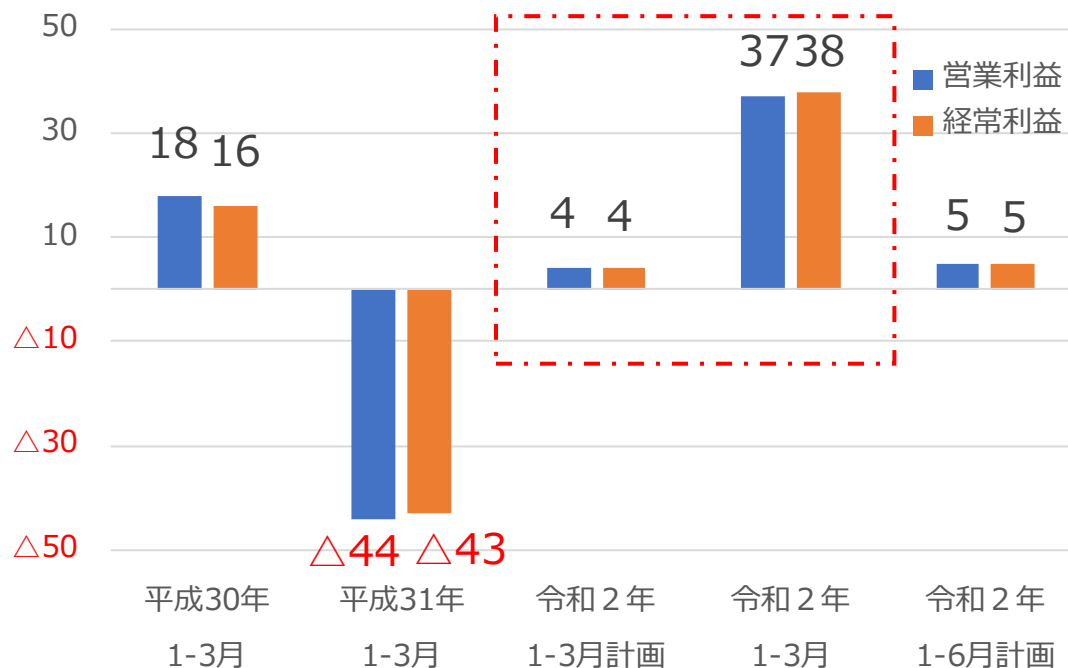
前期にロイヤリティ収入の底上げのために取り組んだ4K/8K向けの開発の成果が、計画通り、ロイヤリティ収入の底上げにつながった。

(開発収入)

納期が早まった案件があり、計画を上回った。

5. 連結営業利益・連結経常利益推移

単位：百万円未満切捨て



連結営業利益	18	△44	4	37	5
連結経常利益	16	△43	4	38	5

(営業利益・経常利益)

売上高の増収に加え、新型コロナウイルス感染拡大により、出張自粛などで発生経費が少なくなったことにより、営業利益、経常利益ともに計画を大きく上回った。

本資料は、株式会社sMedio（以下、「当社」といいます。）の決算情報の説明のために作成されたものであります。

本資料に記載されている計画や見通し、将来展望などは、本資料作成時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的と考えるものであります。が、これらには、様々なリスクや不確実性が内在しています。

様々なリスクや不確実性には、既知のものもあれば、未知のものもあり、当社が発表している計画や見通し、将来展望、将来の業績などが、実際の業績などと異なる結果となる可能性があり、当社として、それらの実現を保証するものではありません。